



公明党
ながお くにただ
永尾 邦忠 議員

新型コロナ

Q 集団新型コロナワクチン模擬接種から見えてきた課題は。

A 予診票の記入に時間がかかったので、スタッフの聞き取りによる作成などの工夫が必要。衣服の着脱にも時間がかかったので、肩を出しやすい服装での来場を周知したい。

また、会場内での人との間隔や換気、不必要な会話を控えるなどを課題として準備に取り組みたい。

Q 集団接種会場までの移動手段を持たない高齢者への対応は。

A 移動手段がないために予防接種を受けられないことがないよう体制の構築に向け検討しているが、国の予算措置が大前提になってくる。

Q アナフィラキシー時の応急処置の負担は。

A 応急処置で使用する物品、薬品等の費用は国負担で、自己負担はないが、その後の医療機関での治療は通常の受診と同様、医療保険での対応となり自己負担が生じる。副反応による健康被害は極めてまれだが、

避けることができず、国の救済制度が設けられている。

Q 接種順位は医療従事者、65歳以上、基礎疾患をお持ちの方、高齢者施設等従事者、60〜64歳となっているが、高齢者施設等従事者と入居者を同時に接種できないか。

A 高齢者施設を先に行う自治体も出てきている。ワクチンの供給量が前提の上で、どの段階が一番効果的か判断したい。

Q ワクチン輸送体制を可能な限り地元企業に委託できないか。

A 運送業の許可を受けた業者でなければ配送の委託はできない。振動を避け、安定した状態で運搬する必要がある、医師会とも相談し検討したい。

Q コロナ禍における観光、飲食のみならず関連業者の収入減が大きな課題となっているが、救済としての本市の対応と業種拡充については。

A 事業継続支援給付金事業を実施する。中小企業者をはじめ、農林漁業者等、幅広い業種を想定している。

【その他の質問項目】

◇教育について

◇所有者不明土地について



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

地域交通と地場産業の支援対策

Q コロナ禍で厳しい環境に追い込まれている地域交通事業の支援は？

A 地域公共交通は市民の足として、観光や福祉など様々な分野で重要な役割を持つもの。国の施策を活用しながら、県や関係市及び交通事業者と一体となって守っていききたい。国への要望も市長の務めである。

市職員降給の考え方

Q 降給条例は必要ない。人事評価制度で対応できないのか？

A 人事評価の結果、指導したにもかかわらず改善されない場合に降給する制度。国家公務員の取扱いに準じて今回提案した。

Q 第三者委員会の設置はあるのか？職員のやる気に逆行しないのか？

A 審議は公平を期すための審査会を設置して検討したい。人事評価の結果、頑張っている職員は報われるように運用し、職員の意欲・能力の向上と組織の活性化を図っていききたい。

コロナワクチン接種

Q ワクチンに関しての相談窓口は？妊婦の方は優先して接種できないか？対象外となっている16歳以下の子供への見解は？

A コールセンターを3月中に準備したい。接種順位については国が決定することになっており、妊婦の方を優先することが示されていない。現在、ファイザー社において12歳以上の子供の臨床試験も開始されており、薬事承認された場合、準備を進めていきたい。

市民に開かれた庁舎の活用

Q 庁舎内にふれあいショップや喫茶コーナーを設置できないのか？

A 庁舎内に自販機を設置しており、2階外部の川床デッキや2階内部南側の休憩スペース等を喫茶スペースとして活用いただきたい。

自主防災会組織強化事業

Q 市の構想と今後のスケジュールは？

A 大型化する自然災害について、自助、共助の重要性を認識しており、自主防災組織の再編成を推進している。すでに、安中地区は新たな組織として活動しており、白山地区は4月から活動される。今回、霊丘地区で町内会と自主防災会の組織を分けただき、再編を進めていきたい。

【その他の質問項目】

◇成人式の見解について、成人者のみの入場で5月2日に実施する。
◇高齢者福祉交通機関利用助成事業の60枚交付に減らされた要因。